

池田山に大規模保育所計画 なぜ？ これはおかしい！！

池田山の中心地（交番前）に保育所が計画されているのをご存知ですか？

- ★ 閑静な住宅地に 100 名を超える 大規模な保育所計画
- ★ 福祉バブルか？ 税金の無駄づかいによる箱もの行政
- ★ 池田山環境協定を無視した 乱暴な建築計画
- ★ 交通事故、夜間の騒音など 市民生活に混乱の恐れ

元首相仮公邸隣に社会福祉法人夢工房が認可保育所を計画

道路から 2 m 以上高い地盤の上に 3 階建（屋上に園庭）

夢工房の計画：工事着工 2014 年 6 月、開園 2015 年春

認可保育所で預かる乳幼児は、品川区が区内から保育の困難度によって入所を決めるため、池田山では入所できる幼児は少ないはずです。そこに 100 人規模の保育所が今なぜ必要なのでしょう。（近くの品川区立東五反田保育園でも定員 75 人）

夢工房は社会福祉法人なので、主に税金によって運営されています。品川区の場合、ゼロ歳児だと一人当たり月額 39.5 万円が区から認可保育所に支払われます。また建設費の 7/8 が税金によって補助されます。その他にも法人税免除などの多くの公的支援があります。それにも関わらず、夢工房が保育士の人件費を削って蓄えた利益を、高額な不動産購入（敷地 300 坪で推定 10 億円）に充てる、というのがはたして私たちの民意に適った社会福祉活動と言えるでしょうか。

消費税増税によって、子育て支援に新たな 7000 億円の予算が充てられます。これは私たちの次の世代のために、大切に使わなければならない貴重な財源のはずです。それを何ら地域ニーズの実態調査（待機児童数など）もない場所で、建設費に加えて、なぜ年間 1.6 億円以上の運営費（本件）を、私たちは事業者に助成しなければならないのでしょうか。今、保育問題で解決しなければならないのは、低い賃金による保育士不足なのです。決して保育所の数合わせではありません。

夢工房の設計では 1987 年に制定された「池田山環境協定」が全く無視されています。また「品川区のまちづくり整備方針」では、池田山は島津山、花房山、長者丸と並んで、高台の閑静な住宅地とされている地域で、これまで保育所が計画されることはありませんでした。本来、保育所には不向きな地域なのです。

そしてまた池田山は、「ねむの木の庭（旧正田邸跡の公園）」「池田山公園」など、全国からその環境を愛して訪れる方たちをお迎えしています。その「ねむの木の庭」からわずか 50m の場所に大規模な保育所をつくることは、池田山の環境と文化を破壊する行為とも言えるのです。

開業すれば、地域住民の生活にもすぐに影響が出ます。しかもそれは今後、保育所が廃業されるまで続きます。しかしながらこれまで隣家の方々に対して、夢工房からは通り一遍の挨拶さえありません。そのような最低限の社会的配慮をも欠く事業者が、「地域の財産という位置づけ（事業者説明会での専務理事発言）」で保育所を運営することができるのでしょうか。

また夢工房は、区の指導に従って計画を立てていると説明します。しかし品川区の担当部署（子ども未来事業部待機児童対策担当課）は、この池田山保育所計画に関して「民間事業者については、土地等、保育内容、そういうものを事業者の持ち込みという形で提案を受ける提案型なので、区が指導しているわけではない。夢工房との協議は始まっているが、現段階では何も決まっていない」と住民に回答しています。

私たちは、以上の理由で、夢工房の保育所計画に断固反対し、品川区長に対し夢工房の池田山保育所を認可することのないようお願いいたします。この趣旨にご賛同いただける方は、ご署名ください。よろしくお願いいたします。

平成 25 年 12 月 21 日

夢工房池田山保育所計画に反対する会

呼びかけ人（五十音順）

稲葉 博子、上野 貞彦、江口 恒子、大原 稔、
桂田 淹代、小林 満利子、鈴木 青樹、鈴木 知世、
富田 正一、成毛 偕子、新倉 和歌子、服部 陽子、
平山 哲雄、船曳 鴻紅、森田 誠司、森山 まさみ、
山口 千恵子、山口 高行、米山 達子